

参考資料

令和8年度当初予算案における主要な事業

部 室 名
市 長 政 策 室

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

区分	令和8年度	令和7年度	伸び率
予算総額	420,549千円	139,559千円	201.3%
一般会計構成比	0.9%	0.3%	—

II 主な新規事業及び重要事業

(単位 千円)

施策6-3 市民協働とシティプロモーションの推進

P 1	市長のまち探検事業（広聴広報費庶務事業）	【秘書課】	138
P 2	市長への意見・提言	【秘書課】	7

施策6-4 効率的な行財政運営の推進

P 3	一部新規等 SDGs 推進事業	【総合政策課】	9,691
P 4	第7次総合振興計画策定事業	【総合政策課】	12,719

市長のまち探検事業（広聴広報費庶務事業）

担当 秘書課

内線 2018

1 目的

市長が企業や事業所、市民活動団体等を直接訪問し、意見交換を通じて地域の課題や要望の把握に努め、市政の推進に活かしていくとともに、地元企業の取組や団体の活動を市民に紹介し、地域への愛着や誇りの醸成につなげていく。

2 事業内容

令和8年度は、5回程度の訪問を予定。

訪問時に記念品として、「市長のまち探検プレート」を付けたひなちゃんのぬいぐるみを進呈。

3 予算額 138千円

○訪問実績

年度	訪問数	内訳
令和5年度	3	企業3
令和6年度	5	企業3 NPO 法人1 市民活動団体1
令和7年度	5	企業5

○令和7年度の主な訪問先

令和7年7月7日(月)実施 株式会社田嶋製菓



令和7年11月10日(月)実施 株式会社KCP



市長への意見・提言事業

担当 秘書課
内線 2018

1 目的

市民の声を市政運営に活かし、ともにまちづくりを推進していくため、メールや手紙により意見・提言をいただく機会を設ける。

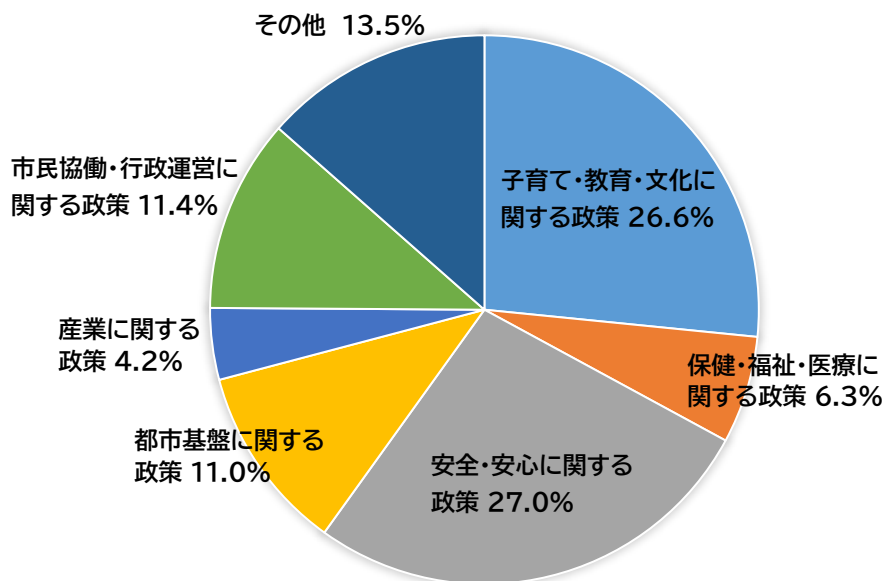
2 事業内容

市民が直接市長に意見・提言する機会を設けるため、市内公共施設に専用用紙を設置するとともに、市ホームページ内に市長への意見・提言専用フォームを用意。

これらの方法により送られてくる意見・提言を秘書課で受付し、関連部署と調整のうえ、受付日から2週間を目途に市長又は担当部課長からメール等で回答するほか、内容によっては、担当部署から電話等で直接対応する。

3 予算額 7千円

【令和6年度 市長への手紙・メールの集計結果】 ※総数237件（メール185件、手紙52件）



SDGs 推進事業

一部新規・拡充

担当 総合政策課 企画担当
内線 2236

1 目的

令和5年5月のSDGs未来都市選定を受けて同年8月に策定した「鴻巣市SDGs未来都市計画」の進捗管理を行うとともに、市民・事業者へ向けたSDGsの普及・啓発を推進する。また、市民・事業者・行政が連携し、SDGs視点（経済・社会・環境の好循環の創出）による地域課題の解決を図る。

2 事業内容

(1) SDGs推進啓発コーナーの設置【新規】

本市のSDGsの取組の発信拠点として、SDGs推進コーナーや私が取り組むSDGsコーナー、大阪・関西万博リユース給水スポットなどで構成する「SDGs推進啓発コーナー」を本庁舎内に設置する。

(2) こうのとりSDGsフェスティバルの開催

こどもから大人までの幅広い年代の方々々がSDGsへの理解を深める場として、事業者・市民・学校など、多岐にわたる分野の皆さんとのパートナーシップによって創り上げる「このとりSDGsフェスティバル」を開催する。

(3) こうのとりSDGsパートナー制度の拡充【一部新規・拡充】

令和6年度に開始した「SDGsパートナー制度」について、登録事業者のさらなる拡充を図るとともに、市とパートナーとの連携、さらにパートナー同士の連携の深化に向けた交流会のほか、新たにパートナーが個々に行っているSDGsに資する取組を発表する「SDGs取組事例発表会」を開催する。

(4) SDGsポイント制度の認知度向上・利用拡大

令和7年1月25日にスタートした「SDGsポイント制度（ポイント名：ブーケ）」について、市民や市内事業者の認知度の向上と利用の拡大を進めることで、SDGsの自分ごと化を促進させるとともに、関係人口の創出、地域経済の活性化を図る。

3 予算額 9,691千円



SDGs 推進啓発コーナー・設置イメージ



SDGs 取組事例発表会・開催イメージ

